

柳之御所遺跡 第88次調査

現地説明会資料

令和8年7月25日(土)

堀外部
地区

堀内部
地区

【外側の堀跡】

【内側の堀跡】

新しい時期の堀です
最終末まで存続

【道路跡】

大きく2つの時期
があります
もっとも新しい時
期は黄色です

調査期間：5月1日～7月31日

調査面積：約300㎡

調査機関：岩手県教育委員会

■調査目的

今年度の発掘調査は、昨年度に続き、内側の堀跡に架かる橋跡の確認を目的としています。これまでの調査から、道路跡と外側の堀跡に架かる土橋跡が重なる位置の周辺に存在すると推測し、今年度の調査箇所を設定しました。

■調査成果

橋脚の可能性がある柱穴を確認しています。現在、周辺を追跡していますが、まだ橋跡の位置の確定には至っていません。

今後も検討を継続しますが、これまで未解明であった内側の堀を渡る箇所は、ほぼこの範囲にあると考えられます。

このほか、堀の正確な位置や形状、堆積状況の確認も行っています。

前年度の調査区

削平された
範囲

【土橋跡】

橋跡の
可能性あり

今年度の調査区

S=1:200